



1 事業の成果

今年度も講演、出前授業、イベント開催などにより、1,815,303 円の事業収入が得られました。次年度はさらに 2,000,000 円レベルの事業収入が見込めるようになってきました。また、プラごみバスターズ事業もゴールである多摩川河口に到達し、ゴールのある川崎市役所で活動報告会も開催できました。プラごみバスターズ事業は、神奈川県より「みんなの SDGs 賞」として表彰を受けました。さらに海岸のごみ拾いにとどまらず、アマモや海藻類の保全・再生の要素も活動に加わって活動しました。主に小学校を中心とした環境出前授業・出前実習は、53 回、27 校、参加者のべ 2,033 名に対して実施。今後でもできることから実施し、より多くの方たちや行政、企業、活動団体を巻き込みながら、さらにアクティブな展開を今後も行なっていきます。

1. 環境出前授業・出前実習 53 回、27 校、のべ 2,033 名に対して実施

環境出前授業実施事業（公益財団法人日本財団助成事業）は、総合学習として海洋プラスチック汚染、マイクロプラスチック問題、地球温暖化問題、生物多様性問題などのテーマにおいて年間 55 回、参加のべ人数 2,073 名に対しての出前授業を実施。教室にとどまらず、バスをチャーターするなど、現場に子どもたちと一緒に出て、マイクロプラスチック粒子や漂着プラスチックごみ拾いを体験してもらい、ごみの実態やごみによる環境への悪影響の実態を知ってもらいました。最終的に子どもたちのアクション発表の場として「子ども環境サミット」を開催しました。今後さらに行政や企業などへの巻き込みを狙います。協力：公益財団法人 B&G 財団

2. プラごみ・マイクロプラスチックに関する講演 7 回、のべ 481 名に対して実施

ボーイスカウト神奈川連盟、横浜ロータリークラブ、ユーコープかながわ、綾瀬市、横浜市、など企業や団体からの依頼で講演を実施。年度内 7 回、のべ 481 名に対して行ないました。

3. マイクロプラスチックに関するワークショップ 8 回、のべ 644 名に対して実施

みなとみらい YOXO フェスティバル、住宅展示場などで、親子向けのイベントを実施。今後このようなケースが増えてきます。（公益財団法人日本財団助成事業）

4. プラごみ・マイクロプラスチックに関する啓発のための写真展 74 日開催、のべ 9,041 名に対して実施

味の素株式会社川崎工場、横浜市役所、川崎市役所などで 68 日開催しました。（公益財団法人日本財団助成事業）

また、1 の事業のアウトプットとして、子どもたちが撮影したマイクロプラスチック万華鏡内部の写真を行政や生活協同組合などとの協働でからも依頼があり、写真展を 43 日開催しました。（よこはま夢ファンド助成事業）

5. 神奈川県の海岸線プラごみ調査と回収 プラごみバスターズ事業 10 回実施、のべ 83 名にて、305.67kg を処理

神奈川県の端から端まで歩いてごみ拾いをしながら、神奈川県のプラごみ分布調査および、ドローンなども活用した海岸線のデータベース作成を行なっています。（公益財団法人日本財団助成事業、桂川・相模川流域協議会補助金事業）10 回実施し、のべ 83 名が参加。ゴールの多摩川加工に到達。4 年 9 ヶ月かけて累計 411km 歩き、トータル 3 トン 52kg の主にプラごみを適正に処理しました。動画も撮影し、YouTube にアップしています。各エリアのごみのデータを分析し、次年度以降の活動に役立てて、よりスピーディーに、より効率の良いごみ回収を実施します。こ

の事業は、神奈川県より「みんなのSDGs 賞」として表彰されました。

6. 城ヶ島海底清掃とビーチクリーン 2 回実施、76 名参加、103.54kg 処理

小学生たちとボランティアダイバー、観光客による城ヶ島ビーチクリーン大作戦（公益財団法人イオン環境財団助成事業）では、相模湾と東京湾の双方から漂着するプラスチックごみの海底清掃およびビーチクリーン活動を行ないました。2 回開催してのべ 76 名が参加し、103.54kg のプラスチックを中心とするごみを回収し、適正に処理しました。城ヶ島ダイビングセンター、城ヶ島漁業協同組合との協働でとり行ないました。協力：公益財団法人かながわ海岸美化財団、公益財団法人 B&G 財団

7. 海底清掃・調査およびビーチクリーン、茅ヶ崎、真鶴・岩にて実施 86 名参加、179.17kg 処理

ダイバーによる海底清掃事業（公益財団法人イオン環境財団助成事業）では、茅ヶ崎海岸沖海底清掃および真鶴・岩沖海底清掃およびビーチクリーンを行ないました。茅ヶ崎では 2 回、真鶴・岩では 1 回実施。参加者のべ 86 名、トータル 179.17kg のごみを回収し、各自治体の定める分別により適正に処理しました。岩ダイビングセンター、岩漁業協働組合との協働でとり行ないました。協力：公益財団法人かながわ海岸美化財団、公益財団法人 B&G 財団、株式会社パワーズサーフクラブ

8. 三浦・横須賀エリアの天然アマモ場再生と海岸清掃事業

5 のプラごみバスターズ事業から三浦市と横須賀市の海岸のごみが多いことから、このエリアを重点的に海岸清掃と三浦半島先端部天然アマモ場の保全・再生の事業（東京ガス助成事業）プラごみバスターズ事業で発見した三浦半島先端部の天然アマモ場生育地。残念ながらそのアマモにはプラごみがひっかかり、とても海のゆりかごとは呼べない状況。アマモの種子採取作業のお手伝い、海岸のごみ清掃、横須賀市や三浦市との連携を深める活動を行ないました。

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

自然環境保護に関する普及啓発事業

1 環境出前授業・出前実習実施事業

- ・内 容 環境出前授業・出前実習実施事業（公益財団法人日本財団助成事業）
- ・実 施 日 5 月 31 日、6 月 24 日、6 月 29 日、7 月 28 日、8 月 8 日、9 月 3 日、9 月 6 日、9 月 13 日、9 月 18 日、9 月 26 日、9 月 30 日、10 月 4 日、10 月 10 日、10 月 22 日、10 月 25 日、10 月 29 日、11 月 1 日、11 月 5 日、11 月 7 日、11 月 8 日、11 月 14 日、11 月 15 日、11 月 18 日、11 月 19 日、11 月 22 日、11 月 25 日、11 月 26 日、11 月 27 日、11 月 28 日、11 月 29 日、12 月 2 日、12 月 3 日、12 月 10 日、12 月 16 日、12 月 17 日、12 月 19 日、12 月 20 日、12 月 23 日、12 月 24 日、12 月 26 日、1 月 9 日、1 月 15 日、1 月 21 日、1 月 27 日、1 月 31 日、2 月 7 日、2 月 10 日、2 月 13 日、2 月 19 日、2 月 21 日
計 51 回実施
- ・場 所 横浜学園高等学校、平塚市立みずほ小学校、小田原市立早川小学校、聖光学院高等学校、横浜市立戸塚図書館、横浜市立中和田小学校、横浜市立保土ヶ谷小学校、横浜市立上大岡小学校、平塚市立港小学校、横浜市立仏向小学校、横浜市立入船小学校、東京工科大学、大分県立雄城台高等学校、横浜市立不動丸小学校、川崎市立向丘小学校特別支援級、秦野市立南が丘小学校、横浜市立南瀬谷中学校、関東学院六浦小学校、小田原市立山王小学校、三浦市立岬陽小学校、横

浜市立新橋小学校、横浜市立竹山小学校、横浜市立芹が谷南小学校、神奈川県立相模原弥栄高等学校、横浜市立森東小学校、相模原市立相武台小学校、厚木市立北小学校、京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター、横浜市野島海岸、平塚市平塚海岸、横浜市みなとみらい臨港パークなど。(順不同)

- ・従事者人員 のべ 127 人
- ・受益対象者 参加者のべ 2,033 人
- ・支出額 2,314,110 円 (内訳 旅費交通費 146,820 円、通信運搬費 46,920 円、物品費 169,260 円、消耗品費 97,160 円、賃借費 830,430 円、保険料 2,800 円、報償謝礼費 647,010 円、管理費 373,710 円)

2 海洋プラスチック汚染・マイクロプラスチック問題普及啓蒙講演開催事業

- ・内 容 海洋プラスチック汚染、マイクロプラスチック問題についての講演実施事業
- ・実施日 9月21日、9月24日、9月28日、12月14日、12月15日、12月22日、1月18日
- ・場 所 ボーイスカウト会館、ホテルニューグランド、茅ヶ崎市うみかぜテラス、綾瀬市リサイクルプラザ、横浜市役所、川崎市役所など。(順不同)
- ・従事者人員 31 人
- ・受益対象者 参加者 481 人、その他
- ・支出額 68,500 円 (内訳 旅費交通費 38,260 円、通信運搬費 11,000 円、物品費 9,600 円、管理費 9,640 円)

3 マイクロプラスチック問題普及啓蒙ワークショップ開催事業

- ・内 容 マイクロプラスチック問題についての子ども向け、親子向けのマイクロプラスチック粒子を使用した万華鏡作りワークショップ実施事業 (公益財団法人日本財団助成事業)
- ・実施日 4月13日、4月18日、4月27日、4月28日、10月6日、1月25日、1月26日
- ・場 所 東京都代々木公園、横浜市野島海岸、静岡市葵住宅展示場、掛川市掛川住宅展示場、みなとみらいワールドポーターズ、東京都大井埠頭、川崎市東扇島、横浜市幸浦など。(順不同)
- ・従事者人員 19 人
- ・受益対象者 参加者 644 人、その他
- ・支出額 994,881 円 (内訳 旅費交通費 51,380 円、通信運搬費 13,620 円、物品費 59,241 円、消耗品費 34,000 円、賃借料 283,240 円、報奨謝礼費 390,630 円、保険料 2,800 円、管理費 159,970 円)

4 海洋プラスチック汚染・マイクロプラスチック問題普及啓蒙写真展開催事業

- ・内 容 海洋プラスチック汚染、マイクロプラスチック問題についての写真展開催事業 (公益財団法人日本財団助成事業、横浜市ゆめファンド助成事業)
- ・実施日 8月1日～8月31日、2月8日、1月17日～1月24日、1月25日～2月13日、2月8日、2月21日～2月24日の計 74 日実施。

- ・場 所 味の素株式会社川崎工場、横浜市役所、川崎市役所、ユーコープ白根店、ゆめが丘ソラトス、泉区役所、港南区役所など。(順不同)
- ・従事者人員 27 人
- ・受益対象者 参加者 9,041 人、その他
- ・支出額 728,303 円 (内訳 旅費交通費 73,410 円、通信運搬費 30,460 円、消耗品費 48,550 円、物品費 84,603 円、委託作業費 60,000 円、報償謝礼費 313,710 円、管理費 117,570 円)

5 神奈川県海岸線ごみ拾いとデータベース作成事業

- ・内 容 神奈川県海岸線 435.09km のごみ拾いと海岸線データベース作り (公益財団法人日本財団助成事業、桂川・相模川流域協議会補助金事業)
- ・実 施 日 3 月 9 日、4 月 14 日、5 月 12 日、6 月 1 日、6 月 15 日、7 月 6 日、8 月 3 日、9 月 15 日、10 月 26 日、11 月 24 日、12 月 1 日
- ・場 所 神奈川県の海岸線 (横浜市南本牧～川崎市多摩川河口)
- ・従事者人員 83 人
- ・受益対象者 参加者 83 人、その他、海岸がきれいになることで受益する方多数
- ・支出額 867,900 円 (内訳 旅費交通費 209,920 円、通信運搬費 12,500 円、消耗品費 149,200 円、物品費 73,200 円、委託作業費 90,000 円、賃借料 141,520 円、通信費 24,000 円、会議費 23,000 円、保険料 5,600 円、管理費 138,960 円)

6 城ヶ島海底清掃とビーチクリーン事業

- ・内 容 小学生たち、ボランティアダイバー、一般観光客による海底と海岸清掃 (公益財団法人イオン環境財団助成事業)
- ・実 施 日 3 月 23 日、6 月 1 日
- ・場 所 城ヶ島・梶の浜、漁港
- ・従事者人員 21 人
- ・受益対象者 参加者 76 人、その他海底と海岸がきれいになることで受益する方多数
- ・支出額 763,370 円 (内訳 旅費交通費 35,610 円、通信運搬費 16,500 円、消耗品費 58,800 円、物品費 77,550 円、賃借料 450,440 円、保険料 1,120 円、管理費 123,350 円)

7 茅ヶ崎沖および真鶴・岩、海底清掃とビーチクリーン事業

- ・内 容 ダイバーによる海底清掃および一般参加者による海岸清掃 (公益財団法人イオン環境財団助成事業)
- ・実 施 日 3 月 20 日、5 月 30 日、9 月 28 日
- ・場 所 茅ヶ崎海岸、茅ヶ崎サザンビーチ沖、真鶴・岩
- ・従事者人員 9 人
- ・受益対象者 参加者 86 人、海底および海岸がきれいになることで受益する方多数

- ・支出額 610,630 円 (内訳 旅費交通費 25,800 円、通信運搬費 11,000 円、消耗品費 32,000 円、物品費 91,410 円、賃借料 350,450 円)

円、保険料 1,680 円、管理費 98,290 円)

8 三浦・横須賀エリアの天然アマモ場再生と海岸清掃事業

- ・内 容 5 のプラごみバスターズ事業のデータ分析の結果、三浦市と横須賀市の 2 市で回収したごみが神奈川県全体の 65%を占めることから、このエリアでのスピーディーで効率良い海岸清掃を展開。またこのエリアに点在するアマモ場も発見したことから、アマモ場の再生も試みる。(東京ガス助成事業)
- ・実 施 日 4 月 5 日、4 月 11 日、4 月 18 日、5 月 16 日、5 月 27 日、5 月 28 日、6 月 1 日、7 月 28 日、9 月 23 日、10 月 6 日、10 月 28 日、1 月 18 日、2 月 26 日
- ・場 所 三浦市・横須賀市海岸域、三浦市役所、横須賀市役所、横須賀市東部漁業組合、公益社団法人観音崎自然博物館、横須賀市走水海岸、横浜市野島海岸、神奈川県庁
- ・従事者人員 56 人
- ・受益対象者 参加者 118 人、参加者および海が保全されることで受益する方多数
- ・支出額 2,376,670 円 (内訳 旅費交通費 173,660 円、通信運搬費 47,450 円、消耗品費 133,650 円、物品費 266,600 円、賃借料 501,050 円、報償謝礼費 771,450 円、保険料 560 円、会議費 10,360 円、管理費 471,890 円)

活動計算書

2024年3月1日から2025年2月28日まで

法人の名称 NPO法人海の森・山の森事務局

(単位:円)

科目		金額	
I 経常収益			
1. 受取会費		177,500	
2. 受取寄附金		953,395	
3. 受取助成金等		5,665,687	
4. 補助金		300,000	
5. 事業収益		1,815,303	出前授業謝金、マイクロプラスチックイ ベント講師・監修料など
6. その他収益		233	普通預金利息
経常収益計			8,912,118
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
物品費	831,464		
消耗品費	553,360		
通信運搬費	189,450		
旅費交通費	754,860		
賃借料	2,557,130		
報奨・謝礼費	2,122,800		
委託作業費	150,000		
保険料	14,560		
会議費	33,360		
その他経費計	7,206,984		
事業費計		7,206,984	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
地代家賃	924,000		
水道光熱費	90,855		
通信運搬費	128,400		
消耗品費	201,660		
旅費交通費	98,350		
手数料	9,160		
減価償却費	2		
会議費	28,500		
保険料	3,500		
会費	32,953		
その他経費計	1,517,380		ZOOMなど
管理費計		1,517,380	
経常費用計			8,724,364
当期経常増減額			187,754
当期正味財産増減額			2,760
前期繰越正味財産額			184,994
次期繰越正味財産額			190,514

貸借対照表

2025年2月28日現在

法人の名称 NPO法人海の森・山の森事務局

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	190,512		
流動資産合計		190,512	
2. 固定資産			
備品簿価(HDプロジェクター)	1		
備品簿価(マルチコプター)	1		
固定資産合計		2	
資産合計			190,514
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		184,994	
当期正味財産増減額		2,760	
正味財産合計			187,754
負債及び正味財産合計			187,754

財産目録

2025年2月28日現在

法人の名称 NPO法人海の森・山の森事務局

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	168,284		
横浜銀行普通預金	12,528		
三菱UFJ銀行普通預金	30		
ゆうちょ銀行普通預金	6,798		
神奈川銀行普通預金	112		
未収金			
未収金	0		
流動資産合計		187,752	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
HDプロジェクター	1		
マルチコプター	1		
有形固定資産計	2		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
固定資産合計		2	
資産合計			187,754
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			187,754